

ごみの減量・再資源化に関する市民説明会 概要
【上田創造館】

1 開催概要

開催日時		令和 8 年 7 月 23 日(木) 19:00～20:15
開催場所		上田創造館 コミュニティホール大
出席者	市民	31 名
	行政(市職員)	環境部長、 ごみ減量企画室職員2名、廃棄物対策課職員 2 名、 資源循環型施設建設関連事業課2名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	資源循環型施設	資源循環型施設の費用の見通しはどうか。	施設の建設で約 300 億円、20 年の運営・維持管理委託で約 175 億円の計475億円を見込んでいるが、競争入札により若干下がるものと思われる。事業費は構成市町村からの負担金や余熱で発電し売電収入を見込んでいるが、毎年約 5～6億円は運営維持管理費がかかる見込みであるため、少しでも施設の負担が減るよう、引き続きごみの減量・再資源化にご協力いただきたい。
2	プラスチックごみ	プラスチックごみのうち、特に納豆容器などは排出する際に洗うのが大変である。企業での取組や連携といったところはどうか。	納豆容器等は洗う、ふき取るなどしてきれいにしてから排出いただくようご協力いただきたい。事業所へは聞き取り調査も行っているが、梱包が多いと伺っている。小売業も強く感じていると思うのでメーカーも今後取り組むものと期待している。
3	指定ごみ袋	ごみ袋を値上げするといった考えはあるか。	指定ごみ袋の値上げは、現時点では未定である。

4	草木類	畑等が出る草や木は燃やせるごみで出しているが、他自治体では無償で引き取っている自治体もある。市での考えはどうか。	これまで焼却していた枝木類や草は現在、クリーンセンターへ持ち込まれたものは焼却せず、隣接する民間施設でリサイクルしている。ごみ集積所に出されたものは焼却しているため実施自治体の例を参考に検討していきたい。
5	ごみの出し方	納豆容器やビン類、油のついたものなど、どこまできれいにする必要があるのか。	ある程度きれいになっているものはリサイクルされるが、例えば納豆容器を洗わずにそのまま出された場合はリサイクルできないので、水で流したり拭き取るなどして、引き続きリサイクルにご協力いただきたい。
6	市民周知	ごみ処理費など、どの程度のコストがかかっているのか、ホームページに金額等を掲載するなど、市民にわかるようにしてほしい。	市民努力が分かるように、市のホームページ等で公開できるよう努めてまいりたい。